

法人名	株式会社みらい
施設名	さくらの郷みらい保育園

発表者名 (職名)	加山 虎太郎 保育士
発表者名 (職名)	前蘭 美月 保育従事者
発表者名 (職名)	大和 みのり 保育士

住所	横浜市緑区鴨居4-52-15		
TEL	045-936-0039	FAX	045-936-0069
メールアドレス	sakura-hoiku@miraihoiku.co.jp		
URL	https://mirainotane.co.jp/		
定員	120名	職員数	50名

発表の概要・内容

【はじめに】

3年前、新型コロナウイルス感染症の影響で外部の様々な研修が中止や制限される中、“こういう時だからこそみんなでじっくり取り組める勉強をしよう！”と、チーム研究会がスタートしました。結果として『今求められている保育やシステム』『子どもと職員が楽しく安心して居られる場所』を考える機会となりました。

【テーマ別 取り組み内容と成果】

【ICT導入推進チーム】

保育園管理システムの導入に際し、導入するタイミングや導入方法、活用する機能の選択、搭載するデータの整備など一つ一つを様々な角度から検討して、まずは保育の書類を紙からシステムへの移行から行いました。今は、使用する機能を順次増やして、登降園管理・保護者への写真やお便り等の配信、次には双方向の連絡ツールなどの導入を検討しています。

【アンガーマネジメントチーム】

『子どもの最善の利益とは何か』を保育を通して追及していくことをテーマとし、定期的な保護者アンケートや、質問に対する保育士からのフィードバック、保護者向け通信を発行しました。職員向けのアンケートや通信の発行、更に子どもたちにもアンガーマネジメントを題材にした絵本の読み聞かせを行い、大人も子どもも安心できるコミュニケーションについて考える機会としました。



【食育チーム】

パネルシアターでのたべもののお話しキャラバン、保護者向けのレシピ紹介・食育だよりの配信など、これまでの食育活動の一つ一つに意味を持たせ、家庭の食事の重要性に行きつきました。その結果、翌年の入園説明会で離乳食・幼児食の試食会開催が実現しました。

【あそびチーム】

乳児の発達からみた、月齢ごと・年齢ごとの特徴に焦点を置き、具体的なふれあい遊びや運動遊び、ことば遊びの楽しさを職員で共有し、保護者向けに発信を行いました。

【園庭・園芸チーム】

園庭を野原の雰囲気にしたという発想から、子どもたちが自由に遊びに使える草花の栽培や、野菜・お米の栽培を通して『育てる・いただく』体験ができる園庭活用を実施し、食育活動にもつながりました。年齢の異なる子どもたちが一緒にいても安全な環境整備も大切なテーマになりました。



メモ